

市民活動分野 政策 4 「国際交流・多文化共生の推進」

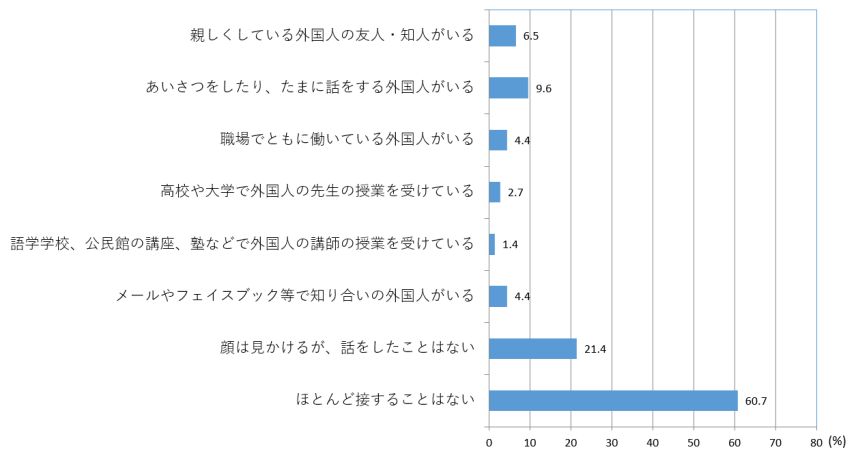
目指す姿

市民レベルでの国際交流や多文化への理解が進み、日本人と外国人が対等な関係を構築しながら、協働して地域づくりを進めている。

【現状と課題】

- 本市は、海外姉妹・友好都市、姉妹城、観光交流域提携など世界とのつながりを多く持っており、姫路市国際交流センターを拠点として様々な国際交流・協力活動を展開していますが、市民が外国人と交流し、異なる文化や価値観に触れる機会はまだまだ少ない状況です。
- 本市では在住外国人が増加しており、姫路市外国人相談センターの開設など支援体制の整備に取り組んでいますが、在住外国人への災害時などの非常事態における情報提供や日本語教育の体制などに課題を残しています。
- 在住外国人は増加傾向にある一方で、自治会を中心とした地域コミュニティ活動への在住外国人の参画は少ない状況です。在住外国人が安心して生活し、地域コミュニティ活動に積極的に参画しながら、日本人と対等な関係で、協働して地域の活性化に取り組むことができる環境づくりが求められています。

※関連データ：姫路市民が外国人と交流する機会について（複数回答あり）



(資料) 姫路市 国際化推進に係る日本人向けアンケート調査 (平成 27 年度)

【目指す姿を実現するための方向性】

人

ア 国際感覚豊かな人材の育成

多文化共生の推進に向け、出前講座や講演会の開催などにより、異なる文化や価値観を理解、尊重し、違いを認め合える国際感覚が豊かな人材を育成します。

地域

イ 在住外国人の地域コミュニティ活動への参画の促進

日本人と在住外国人が交流する機会を創出し、互いに顔が見える関係を作り、互いの文化や価値観への理解を深めるとともに、在住外国人が地域コミュニティ活動の意義や必要性を理解できるよう啓発するなど、在住外国人の地域コミュニティ活動への参画を促進します。

活力

ウ 国際交流・協力活動のさらなる活性化

海外姉妹・友好都市、姉妹城、観光交流域提携による海外都市とのつながりを活用した取組を進めるとともに、姫路市国際交流センターの機能充実により市民レベルでの交流を促進するなど、国際交流・協力活動をさらに活性化させます。

土台

エ 在住外国人への生活支援の充実

在住外国人が安心して生活できるように、日常生活に関する相談体制の充実、医療や緊急・災害時の情報提供の仕組みの整備、日本語や日本文化を学ぶことができる体制の充実、情報伝達媒体の多言語化など、在住外国人への生活支援の充実を図ります。

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市民

➤ 多様な文化や価値観を理解、尊重しましょう。また、国際交流イベントなどに参加し、外国人と積極的に交流しましょう。

地域コミュニティ

➤ 外国人が地域コミュニティ活動に積極的に参画できるよう、日本人と外国人の交流機会をつくりましょう。

企業・団体

➤ 日本人と外国人が、互いの文化や価値観を尊重し、共に活躍できる職場環境を整えましょう。